

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
(第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月19日(第3日)

会場: プール

ゲームNo

15

帽子の色 白
沖縄県立那覇商業高等学校

5

天候: 晴れ

準々決勝

0	-	5
1	-	1
2	-	5
2	-	1
EX.		
-		
P.T.		
-		

青

帽子の色

三重県立四日市中央工業高等学校

12

審判1: 大川和二郎

審判2: 大島 明

戦評

2回戦で高松南を破り、初のベスト4入りを目指す地元那覇商業と、圧倒的な攻撃力で1・2回戦を勝ち上がってきた四日市中央工業との戦い。那覇商業が四日市中央工業の速い動きにどこまで耐えられるかが課題。

1P 四日市中央工業の攻撃で試合が始まった。那覇商業は緊張からマーク確認が中途半端。那覇商業DFが機能する前に青 柿市が落ちてミドルシュートを決める。2年生ながらエースらしいプレー。ここから四日市中央工業の怒濤の攻撃が続く。5:49には青 柿市、3:55には青 加茂が得点し、0-3と一気にリードした。那覇商業はたまたタイムアウトをとり、立て直しを図るが、攻撃の形が整わない。単調な攻撃が四日市中央工業のスピード豊かなカウンター攻撃を受けることになった。四日市中央工業は、2:30、1:45にも加点し、試合の大勢を決めた。

2P 那覇商業は果敢に攻撃を仕掛け、6:46、6:25に退水を誘発、パワープレーのチャンスを得るが、攻撃の形が整わない。4:59、2:19とパワープレーのチャンスがつづくが得点できずに試合が進む。四日市中央工業DFは不用意なファールがピンチを招くものの、GKを中心とした守りと那覇商業の攻撃の拙さもあり得点を許さない。逆に0:44、那覇商業 がP.Fを犯してしまい、パワープレーから青 柿市に決められ、0-6と四日市中央工業がリードした。那覇商業は、0:09、白 玉川がフリースローシュートを決めるが差が縮まらない。

3P 開始早々、那覇商業はパワープレーの絶対的なチャンスを得るが、青GK萩の好セーブにあう。逆に5:52、青 加茂のカウンター攻撃を受け失点。那覇商業は2度目のタイムアウトを取り、立て直しを図る。5:09、白 玉川がP.Tで、3:37には白 田崎がパワープレーから得点し追上げにかかるが、四日市中央工業は攻撃の手をゆるめず、4:11 大野、3:19 柿市、0:47と0:10には 田中が加点し、勝負を決定的なものとした。那覇商業は、四日市中央工業DFを崩すことができず、単調な攻撃が相手に余裕を持った攻撃をさせることになった。

4P 四日市中央工業の下がり気味のDFに、那覇商業がミドルシュートで応戦するが、ことごとくGKの餌食となる。四日市中央工業は、5:58に 加茂がミドルからうまくGKの頭上を打ち抜き加点。その後は、中途半端なカウンター攻撃でシュートまでつながらず、両チームともターンオーバーを繰り返す。四日市中央工業は2:07、タイムアウトをとり、メンバーを入れ替え、立て直しを図る。最後まで執念を見せる那覇商業は0:49、 當間がPを誘発、 玉川がP.Tを決め4-12。さらに0:22、 宮城がカウンターからシュートを決めるが、5-12で力尽きた。

四日市中央工業のスピード豊かなカウンターと判断の速い二次攻撃は素晴らしかった。那覇商業は、泳力差に泣いたが随所にゴールへの執念を見せてくれた。今後の成長を期待する。

記録者

渡辺 俊明